

エアポート・サービス科キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース(2年次)教育課程(履修規程第2条別表)

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得時数
					前期	後期		講義科目	実験又は実習科目	
一般科目	人 間 学 II	2	30		○			○		授業を履修し、試験に合格した科目(修得科目)の授業時数の合計が750時数以上であること
	セルフプロデュースII-1	2	30		○			○		
	セルフプロデュースII-2	2	30			○		○		
	TOEIC II-1-L	2	30		○			○		
	TOEIC II-2-L	2	30			○		○		
	TOEIC II-1-R	4	60		○			○		
	TOEIC II-2-R	4	60			○		○		
	英 会 話 II - 1	2	30		○			○		
	英 会 話 II - 2	4	60			○		○		
	接 遇 英 語 1	2	30		○			○		
	接 遇 英 語 2	2	30			○		○		
中 国 語 II	4	60			○		○			
専門科目	エアラインビジネス	2	30		○			○		
	空港業務知識II	2	30		○			○		
	空港業務知識III	2	30			○		○		
	エアポートサービスII	2	30		○			○		
	接遇・ホスピタリティII-1	2	30		○			○		
	接遇・ホスピタリティII-2	2	30			○		○		
	コンピュータ実践	2	30			○		○		
	コミュニケーション実践	2	30			○		○		
	空港サービス基礎	2	30		○			○		
	貿 易 概 論	2	30			○		○		
	品 質 管 理	2	30		○			○		
	企業研修教育(基礎)	3	120			○			○	
	企業研修教育(応用)	7	300			○			○	
計		64	1230						750以上	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	人間学Ⅱ		担当教員名	赤塚 かおり ・ 学生支援課 (1～12,15回) (14回)			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーを身につける。 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の必要性を理解し、普段から心掛け実行する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢			
			80%	20%			
教員実務経験	—						
学生へのメッセージ (150文字程度)	立派な社会人として活躍できるように、学んだことを普段から実践し身に付けてください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、実社会においても成長し続けてください。						
教科書	書名	人間学		書名			
	書名	社会人基礎力講座		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	新社会人講座	(1)良い人間関係を作るには (2)会社の仕組みと組織 (3)社会人としてのマナー
2		
3		
4		
5		
6	社会人基礎力	(1)前に踏み出す力 (2)考え抜く力 (3)チームで働く力 アクティブラーニング(調べる、纏める、発表する)
7		
8		
9		
10※	グループディスカッション	グループディスカッション
11※		
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕活動	清掃活動など

2022シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目		
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース	開講時期	2年次 前期
授業科目名	セルフプロデュースⅡ-1	担当教員名	赤塚 かおり	
授業形態	講義	授業時数	30	単位数 2
				選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	内定前・内定後にも有効活用できるヒューマンスキルを磨いていきます。社会人としてのスタートに向けた行動変革と実行力を知識および行動の側面から学習します。			
到達目標 (150文字程度)	①就職内定に向けた社会人基礎力を身につける。 ②自己肯定感とチーム力を身につけ、組織人としてスタートを切る力を習得する。 ③社会人としての一般常識マナーを習得する。			
評価方法	定期試験		その他の評価方法	
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	小テスト
		40%	20%	40%
教員実務経験	国内線・国際線客室乗務員経験			
学生へのメッセージ (150文字程度)	先輩や同僚から愛される新入社員を目指し、ベーシックマナーと参画意識を身につけましょう。			
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール	書名	
	書名	マナープロトコルの基礎知識	書名	
参考書	書名	グループ体験学習ワーク	書名	
	書名		書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人基礎力	前に踏み出す力 グループワーク①	
2		考え抜く力	
3		チームで働く力 グループワーク②	
4	マナープロトコル	国際人としてのプロトコル	
5		社会人に必要なマナー	
6		食事のマナー	
7	セルフプロデュース	プレゼンテーション①	
8		プレゼンテーション②	
9	一般常識マナー	ビジネスメール	
10		手紙のマナー	
11		冠婚葬祭①	
12		冠婚葬祭②	
13		社会人常識マナー検定3級①	
14		社会人常識マナー検定3級②	
15		モチベーションマネジメント	自己肯定感

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース							
授業科目名	セルフプロデュースⅡ-2	担当教員名	岡本 順子					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	(目的) 早期研修・就業後のモチベーション維持に向けて、社会人・新入社員としての心構えと実践力を身につける。 (テーマ) 自己効力感を高め、社会人に向けての成長を促す。							
到達目標 (150文字程度)	①グループワークを通し、人間関係を学ぶ。 ②自身の役割・ポテンシャルに気づき、個々の自己効力感を高める。 ③日本文化とグローバルな視点を身につける。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	小テスト				
		40%	20%	40%				
教員実務経験	外資系ホテル及び法人研修コンサルティング会社での実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	社会人として自信を持ってスマートに行動が出来るよう、また、入社後に社内社外を問わず信頼され好感を持たれる 人材になれる様に学習し、演習を通して自己に定着させていきましょう。							
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人の基本ルールと心構え	挨拶と新人としての立ち居振る舞い	
2		職場でのコミュニケーション	
3		ビジネス会話、敬語、慣用表現	小テスト
4		メンタルヘルス	
5		ダイバーシティ(異文化・多様性・世代間)の理解	
6	社内業務のマナー	始業、終業プロトコル	
7		ホウ・レン・ソウと指示、依頼	
8		勤怠報告及び各種届け出	小テスト
9		電話応対とマナー	
10		来客応対・トラブル対応	小テスト
11		会議のマナー	
12		訪問、出張時のマナー	
13		ビジネス文書の基本	小テスト
14		ケーススタディ別実践演習	
15		ビジネスマナー総括	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名	TOEIC-II-1-L			担当教員名	那須 まゆみ			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリスニング能力向上を目指す。							
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	小テスト	取り組み姿勢				
			90%	10%				
教員実務経験	企業、自治体などにおける通訳や業務書類の翻訳などの実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これ信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。							
教科書	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 導入	解放テクニック再確認
2	2. Part 1 写真描写問題	語彙と表現
3		意外な盲点
4		最近の傾向
5		語彙と表現
6	3. Part 2 応答問題	意外な盲点
7		最近の傾向
8	4. Part 3 会話問題	語彙と表現
9		問題文先読みテクニック
10		図表問題
11	5. Part 4 説明文問題	語彙と表現
12		集中力について
13		心構え
14	6. 公式問題集抜粋	本番実践1
15		本番実践2

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名	TOEIC-II-2-L		担当教員名	那須 まゆみ			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリスニング能力向上を目指す。						
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	授業姿勢			
			90%	10%			
教員実務経験	企業、自治体などにおける通訳や業務書類の翻訳などの実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これ信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。						
教科書	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. これまでの復習	Part別重要事項確認
2	2. Part 1 写真描写問題	人物描写の注意点
3		物の描写の注意点
4		全体状況の注意点
5	3. Part 2 応答問題	会話人物の背景把握
6		想定外の表現
7		注意点
8	4. Part 3 会話問題	人物関係の把握
9		解答のリズムの話
10		図表問題強化
11	5. Part 4 説明文問題	話者の把握
12		落とし穴表現
13		表現復習
14	6. 公式問題集抜粋	本番実践1
15		本番実践2

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			学科・コース名		エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	TOEIC II-1-R			担当教員名	那須 まゆみ								
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修						
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリーディング能力向上を目指す。英文法を理解し、長文読解力をつける。												
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上												
評価方法	定期試験				その他の評価方法								
	筆記試験	レポート	小テスト	授業姿勢									
	80%		10%	10%									
教員実務経験	企業、自治体などにおける通訳や業務書類の翻訳などの実務経験												
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これ信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。												
教科書	書名	TOEICテスト 中学英文法で600点！				書名	TOEIC TEST 英単語出るとこだけ！						
	書名					書名							
参考書	書名					書名							
	書名					書名							

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 動詞	述語部分 復習
2		実践問題
3		助動詞
4		実践問題
5		時制
6		実践問題
7		受動態
8		実践問題
9		模試問題 Part 5, 6
10		模試問題 Part 7
11	2. 形容詞と副詞	形容詞
12		形容詞
13		実践問題
14		副詞
15		副詞
16		実践問題
17		模試問題 Part 5
18		模試問題 Part 6
19		模試問題 Part 7
20		模試問題 Part 7
21	3. さまざまな文	否定文
22		実践問題
23		疑問文
24		実践問題
25		疑問詞
26		実践問題
27		間接疑問文
28		その他の文
29		実践問題
30		模試問題 Part 5

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名	TOEIC II-2-R			担当教員名	那須 まゆみ			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリーディング能力向上を目指す。英文法を理解し、長文読解力をつける。							
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	小テスト	取り組み姿勢				
	80%		10%	10%				
教員実務経験	企業、自治体などにおける通訳や業務書類の翻訳などの実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これ信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。							
教科書	書名	TOEICテスト 中学英文法で600点！			書名	TOEIC TEST 英単語出るとこだけ！		
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 準動詞	不定詞
2		実践問題
3		動名詞
4		実践問題
5		分詞
6		実践問題
7		模試問題 Part 5
8		模試問題 Part 6
9		模試問題 Part 7
10		模試問題 Part 7
11	2. 比較	比較級
12		実践問題
13		最上級
14		実践問題
15		同等比較
16		実践問題
17	3. 前置詞・接続詞	前置詞
18		前置詞
19		実践問題
20		接続詞
21		接続詞
22		実践問題
23	8. TOEIC解放テクニック	語彙
24		イディオム
25		会話表現
26		応答表現
27		シングルパッセージ読解
28		ダブルパッセージ読解
29		トリプルパッセージ読解
30		総合問題

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	英会話Ⅱ-1		担当教員名	Colin Dunn				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港における安全な環境を理解し、グラウンドスタッフとして国際空港で使用できる英語を学ぶ。様々なシチュエーションにおいて旅客者に対応できる英語能力を培う。							
到達目標 (150文字程度)	外国人との会話に自信をつける。 ネイティブスピーカーとの対話の中で正しい発音を身につける。 やや複雑な英語表現の習得。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	40%	40%	20%					
教員実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	授業中失敗を恐れず積極的に発言する姿勢を望む。							
教科書	書名	Interchange 2 student book (5th ed.)			書名			
	書名	Interchange 2 workbook (5th ed.)			書名			
参考書	書名	ワークシート(小冊子):グラウンドスタッフ パケット2			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	Unit 1 ①	人々、幼少期、記憶など
2	Unit 1 ②	人々、幼少期、記憶など
3	Unit 2 ①	運搬、運搬時のトラブル、市のサービス
4	Unit 2 ②	運搬、運搬時のトラブル、市のサービス
5	Unit 3 ①	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
6	Unit 3 ②	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
7	Unit 3 ③	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
8	Unit 4 ①	食べ物、レシピ、指導、調理法
9	Unit 4 ②	食べ物、レシピ、指導、調理法
10	Unit 4 ③	食べ物、レシピ、指導、調理法
11	Unit 5 ①	旅行、休暇、予定
12	Unit 5 ②	旅行、休暇、予定
13	Unit 5 ③	旅行、休暇、予定
14	Unit 6 ①	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪
15	Unit 6 ②	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次	後期
授業科目名	英会話Ⅱ-2		担当教員名	Colin Dunn			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港における安全な環境を理解し、グラウンドスタッフとして国際空港で使用できる英語を学ぶ。様々なシチュエーションにおいて旅行者に対応できる英語能力を培う。						
到達目標 (150文字程度)	外国人との会話に自信をつける。 ネイティブスピーカーとの対話の中で正しい発音を身につける。 やや複雑な英語表現の習得。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	40%	40%	20%				
教員実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	授業中失敗を恐れず積極的に発言する姿勢を望む。						
教科書	書名	Interchange 2 student book (5th ed.)		書名			
	書名	Interchange 2 workbook (5th ed.)		書名			
参考書	書名	ワークシート(小冊子):グラウンドスタッフ パケット2		書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	Unit 6 ③	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪
2	Unit 7 ①	テクノロジー、指導
3	Unit 7 ②	テクノロジー、指導
4	Unit 7 ③	テクノロジー、指導
5	Unit 8 ①	休日、祭り、習慣、お祝い事
6	Unit 8 ②	休日、祭り、習慣、お祝い事
7	Unit 8 ③	休日、祭り、習慣、お祝い事
8	Unit 9 ①	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
9	Unit 9 ②	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
10	Unit 9 ③	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
11	Unit 10 ①	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
12	Unit 10 ②	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
13	Unit 10 ③	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
14	Unit 11 ①	ランドマークとモニュメント、世界の知識
15	Unit 11 ②	ランドマークとモニュメント、世界の知識
16	Unit 11 ③	ランドマークとモニュメント、世界の知識
17	Unit 12 ①	人々の過去の出来事、最近の出来事について
18	Unit 12 ②	人々の過去の出来事、最近の出来事について
19	Unit 12 ③	人々の過去の出来事、最近の出来事について
20	Unit 13 ①	エンターテイメント、映画や本、感想や意見
21	Unit 13 ②	エンターテイメント、映画や本、感想や意見
22	Unit 13 ③	エンターテイメント、映画や本、感想や意見
23	Unit 14 ①	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
24	Unit 14 ②	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
25	Unit 14 ③	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
26	Unit 15 ①	お金、希望、予想、推測
27	Unit 15 ②	お金、希望、予想、推測
28	Unit 15 ③	お金、希望、予想、推測
29	Unit 16 ①	リクエスト、弁解、招待
30	Unit 16 ②	リクエスト、弁解、招待

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期	2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	接遇英語 1		担当教員名	赤塚 かおり			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港での搭乗手続き、手荷物の受託、乗り継ぎのご案内と機内での接客英語を航空業界に特化したテキストを使用しシーン毎に学んでいきます。日常会話とは異なる丁寧な接遇英語をリスニング、カンパセーションを通じてマスターします。						
到達目標 (150文字程度)	①空港及び航空機内業務に特化した必要な接遇英語を習得する。②海外渡航時における基礎英会話を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取組み姿勢				
	60%	-	40%				
教員実務経験	国際線・国内線客室乗務員						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空関連の接遇のシーンにおいて、即戦力となる実践的な英会話を習得します。海外旅行時のトラベル英会話としても有効な会話です。丁寧な英語表現をマスターしましょう。						
教科書	書名	HOSPITALITY ENGLISH			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	すぐに使える接客英会話			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	Airport	Unit1 Ticketing for Domestic Flight
2		Unit2 Domestic Flight Check-in
3		Unit3 International Flight Check-in
4		Unit4 Airport Lounge Service
5		Unit4 Airport Lounge Service
6		Unit5 Assisting Transit Passengers
7		Unit6 Baggage Issues
8		Unit6 Baggage Issues
9	In-flight	Unit7 Welcome Aboard
10		Unit8 Before Takeoff
11		Unit9 In-flight Service
12		Unit10 In-flight Sales
13		Unit11 Passenger Care
14		Unit12 Before Landing
15	Review	Polite English

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	接客英語 2		担当教員名	赤塚 かおり				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	訪日外国人対応力向上を目指し、接客英会話の基本を各シーン毎に学習します。							
到達目標 (150文字程度)	様々な接客業において、基本的な接客英会話をマスターし、海外渡航時にのグローバルコミュニケーションを身につけます。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取組み姿勢					
	60%	-	40%					
教員実務経験	国際線・国内線客室乗務員							
学生へのメッセージ (150文字程度)	様々な業種における接客シーンにおいて、即戦力となる実践的な英会話を習得します。海外旅行時のトラベル英会話としても有効な会話です。丁寧な英語表現をマスターしましょう。							
教科書	書名	HOSPITALITY ENGLISH			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	キクタン英会話(海外旅行編)			書名			
	書名	すぐに使える接客英会話			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	接客英会話の基本	お客様歓迎・お見送り・営業時間の案内・店内の案内/HE Unit1復習
2		聞き取れない場合の対応・お詫び/HE Unit2復習
3		あいづちと役立つ表現/HE Unit3復習
4		雑談/HE Unit4復習
5		会計/HE Unit5復習
6		急病人ケア/Unit 6復習
7	レストラン	予約の確認・座席案内/Unit 7復習
8		注文を聞く/HE Unit 8復習
9		料理を運ぶ/HE Unit 9復習
10		クレーム対応/HE Unit 10復習
11		ファーストフード/HE Unit11復習
12		回転寿司・居酒屋・和食/HE Unit12復習
13		緊急対応・急病人対応
14	ショッピング	コンビニエンスストア・スーパーマーケット・買い物をする
15	Review	Review

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目		学科・コース名		エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース□		開講時期	2年次	後期
授業科目名	中国語 II			担当教員名	許 賢科							
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修					
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界を目指す学生に対し、初歩的な中国語に興味を持たせ、簡単な日常的会話及び空港でよく使われる簡単な中国語を理解させ、将来航空業界で簡単な中国語が活用できることを目指す。											
到達目標 (150文字程度)	日常会話を基本とし、その場面で設定して中国語の基礎力を養う。											
評価方法	定期試験			その他の評価方法								
	筆記試験	レポート	100%									
教員実務経験												
学生へのメッセージ (150文字程度)	一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！ 加油(頑張りましょう)！											
教科書	書名	1冊めの中国語・会話クラス			書名							
	書名				書名							
参考書	書名				書名							
	書名				書名							

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	発音入門1	声調符号と単母音
2	発音入門2	子音と複母音
3	発音入門3	鼻音とピンインの組み合わせ
4	初級文法1	楊麗さんですか(人称代名詞と“是”構文)
5	初級文法2	荷物は多いですか(指示代名詞、疑問詞、形容詞述語文)
6	初級文法3	明日はどこへ行きますか(場所代名詞、動詞述語文、疑問文)
7	初級文法4	ケーキを食べたいですか(助動詞“想”、動詞の重ね方)
8		
9	初級文法5	これはいくらですか(数詞、量詞)
10		
11	初級文法6	電子辞書を持っていますか(動詞“有”“在”、前置詞“离”)
12		
13	初級文法7	京劇チケットを買いました(連動文、完了の“了”)
14		
15	初級文法8	ファーストフード店がありますか(変化を表す“了”、前置詞“在”)
16		
17	初級文法9	中国の歌が歌えますか(助動詞“可以”“能”“会”、前置詞“给”)
18		
19	初級文法10	長城に行ったことがありますか(経験を表す“过”、方向補語)
20		
21	初級文法11	お腹をこわしました(主述述語文、比較表現)
22		
23	初級文法12	どのぐらいの時間がかかりますか(結果補語、時間の長さの言い方)
24		
25	初級文法13	トイレが故障しました(使役動詞“让”“叫”)
26		
27	初級文法14	中国語が上手ですね(様態補語)
28		
29	初級文法15	いよいよ帰国です(前置詞“为”)
30		

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次 前期		
授業科目名	エアラインビジネス		担当教員名	エアポートサービス科常勤教員			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 航空業界の最新動向やトレンドを動画や記事等を通じて学び、日本・世界の航空業界の現状と課題を認識する。 2. 激動する航空業界において、航空業界を取り巻く環境と構造的な課題について理解を深める。						
到達目標 (150文字程度)	航空業界が日本・世界の様々な政治・経済・社会的な動きに連動し、大きく変動する要素を抱える業界であることを正確に理解し、その最新動向について十分な知識と理解を得ることを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		90%	10%				
教員実務経験	エアラインでの総合的な実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空系各企業への入社を目前に控え、航空業界に今後身を置くものとして時事的な話題にも関心を高め、理解を深めることに主眼を置いて受講頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	航空業界の最新動向の把握と理解	航空業界の最新動向・トレンドの把握と理解 ①航空業界の最新動向を取り上げた動画を題材としたレポートの作成またはディスカッションの実施 ②新聞記事やWEBニュースを題材とした航空業界の最新動向の把握とテーマディスカッションの実施
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	航空業界の外部環境と構造的課題	航空業界を取り巻く外部環境の大幅な変化と今後の見通しについての解説 政治・経済・社会的動向に大きく左右される航空業界の構造的課題についての理解
10		
11		
12		
13		
14		
15	まとめ	本講義の総括

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目							
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					開講時期	2年次	前期
授業科目名	空港業務知識Ⅱ			担当教員名	村山 一成				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	① 人間の行動特性から起こりうるヒューマンエラーの意味を理解し、そのエラーコントロール手法を習得する。 ② エラー防止の実践と定着をめざす。 ③ 企業における安全風土の意識づくりの重要性を理解する。								
到達目標 (150文字程度)	人はエラーを起こしやすくエラーから事故に繋がる。そのメカニズムを理解し空港内で仕事を安全に遂行するための基礎知識を習得する。								
評価方法	定期試験			その他の評価方法					
	筆記試験	取り組み姿勢							
	90%	10%							
教員実務経験	エアライン系企業によるグラウンドハンドリング実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港で業務に携わる者として身につけておく知識を積極的に吸収してください。								
教科書	書名	HF's訓練パワーポイント				書名			
	書名					書名			
参考書	書名					書名			
	書名					書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	ヒューマンファクターズについての進め方及び評価方法
2	HF's基本原理	ヒューマンファクターズの基礎
3	ヒューマンファクターズとは	人間の要素と行動思考との関連性を理解
4	人間の特性	人間の脳の情報処理
5		メカニズムを理解
6	エラーの分類と対策	エラータイプの理解
7		エラーを増加させる要件
8	バイオレーション	バイオレーションの理解と防止
9	環境・健康と安全	環境が安全行動に及ぼす影響を理解
10		健康が安全行動に及ぼす影響を理解
11	チームコーディネーション	多人数で「行動することのメリットを学ぶ
12		
13	エラー防止の実践法	エラーコントロールを理解
14	ケーススタディ	エラーの防止法について理解
15	グループ討議、発表	ビデオ視聴によるエラーの発見と対処についてグループごとに討議。結果を発表し各個人の理解力を深める。

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目		学科・コース名		開講時期	2年次	後期	
		エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名		空港業務知識Ⅲ		担当教員名	田中 陽彦				
授業形態		講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		各担当の業務上の知識だけに留まらず、空港施設や空港内における様々な規則、ルールについての理解を深める。							
到達目標 (150文字程度)		空港内における様々な規則、ルールを理解すると共に業務間の繋がりを相互理解する。							
評価方法		定期試験			その他の評価方法				
		筆記試験	レポート	100%					
教員実務経験		空港内に於ける実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)		空港業務に関する幅広い知識の習得に積極的に取り組んでください。							
教科書		書名					書名		
		書名					書名		
参考書		書名					書名		
		書名					書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	空港特性	現行各航空会社で運用されている機種の説明と用途について
2		航空機を運航するにあたっての各関連セクションとの繋がりについて
3		日本国内で旅客便が就航している空港の特性と問題点について
4		各空港における規則の相違点について(空港特性)
5		空港保安に関する過去事例と対策について
6	空港内における異常時の対応	空港内における気象に関する各警報の意味と対応方法について
7		航空機出発作業時に遅延した際の遅延理由コードの構成と意味及び時間管理の重要性について
8		各機種で決められている標準作業工程と各セクションの役割について
9		悪天候下において空港がどのように運用されているのかについて
10	空港内の保安と安全	航空貨物扱いの危険物と手荷物扱いの危険物取扱上の相違点について
11		新聞等にて報じられる航空業界の事例について
12		空港内に於いて発生した過去の事故・イレギュラー事例を取り上げ原因と対策を研究する
13	航空業界について	日本の航空輸送の現状と今後の発展について
14		日本国内における空港の現状と今後の展開について
15	まとめ	総括

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			
授業科目名	エアポートサービスⅡ		担当教員名	井戸 法子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	エアポートサービスⅠで理解した空港サービスにおける基本スキーム(空港の基本構造・グラウンドスタッフの具体的業務内容)に加え、個人ワークやディスカッションを通し、主体性を持って航空業界の知識の定着を図る。						
到達目標 (150文字程度)	航空業界の基本的知識を得た上で、グローバルな視野を持って現在の問題点やあるべき姿など航空業界について主体的に研究する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	授業ワーク			
		50%	20%	30%			
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	毎回持ちまわりで空港や航空会社についての話題を取り上げ、課題や個人・チームでのワークやディスカッションにも積極的に取り組んでください。						
教科書	書名	なし			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	『航空産業入門(第2版)』			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス、天気	ガイダンス、天気概況	
2	イレギュラー	イレギュラー時の対応	
3	セカンドベスト	セカンドベストの提案	
4	コントローラー業務	コントローラーの役割	
5	他部署との関わり	グラウンドスタッフと関わる部門、部署	
6			
7	航空業界	航空業界についての研究、報告書の作成	
8			
9			
10			
11			報告書内容の発表リハーサル
12			
13			報告書内容の発表
14			
15	振り返り	振り返り	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		前期	
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	接遇・ホスピタリティⅡ-1			担当教員名	井戸 法子					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアラインの業務全般に求められる接客・接遇の定着を図る。(高品質な接客・接遇を体現する) ・空港で想定されるレギュラー時やクレームに対しての対応基礎を学ぶ。 									
到達目標 (150文字程度)	空港で想定される様々な接遇シーン(カウンター・ゲート・ロビー・航空機内)を、学内モックアップを使用しケーススタディーを繰り返し行う。									
評価方法	定期試験			その他の評価方法						
	筆記試験	レポート	授業ワーク							
		50%	50%							
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務経験									
学生へのメッセージ (150文字程度)	一年次に学んだ知識とインターンシップで学んだ技量をあわせて、最高の対応力を発揮できるよう繰り返し練習しよう。									
教科書	書名				書名					
	書名				書名					
参考書	書名	ゼロから教えて接客・接遇			書名	女性のビジネスマナー				
	書名				書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	授業の進め方
2	技能コンテストプラン	対応ケースの設定とスケジュール作成
3	ロビーご案内	機転、機敏、気配りをきかせたロビーサービス全般
4		
5	カウンター対応	搭乗手続き、イレギュラー時の対応 日本語、英語
6		
7		
8	アナウンス	通常のアナウンスイレギュラーアナウンス
9		シーン別のアナウンス文作成とアナウンス
10	お手伝いが必要な お客様対応	歩行障がい、視覚障がい、聴覚障がいのお客様対応
11		その他のお手伝いが必要なお客様の対応
12	ロールプレイング	多様なお客様の対応
13		
14	技能コンテスト	技能コンテスト
15		

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グランドスタッフコース			
授業科目名	接遇・ホスピタリティⅡ-2		担当教員名	井戸 法子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	様々なお客様にサービスを提供する空港において、性別、人種、国籍、宗教、年齢、学歴、職歴など多様性に触れる機会を設け、自ら参画する。						
到達目標 (150文字程度)	接遇者、ならびに社会人になることをイメージし、自ら参画し、チームワーク力を発揮する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
		50%	50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	様々な人に積極的に接することで、相手に寄り添う気持ちや適した対応が何か考える想像力をつけましょう。						
教科書				書名			
	書名			書名			
参考書	書名	ゼロから教えて接客・接遇			書名		
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	授業の進め方
2	お客様への対応①	読み聞かせポイントと本の選択
3		読み聞かせ練習、折り紙
4		予行演習
5		実習
6		
7	お客様への対応②	搭乗体験プラン
8		搭乗体験練習
9		予行演習
10		実習
11		
12	緊急時の対応	普通救命講習
13		
14		
15		

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目		学科・コース名		開講時期	2年次	後期
		エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名		コンピュータ実践		担当教員名	井戸 法子			
授業形態		講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロソフト(Microsoft Word)、表計算ソフト(Microsoft Excel)の基礎的な使用方法を習得する。 ・プレゼンテーションソフト(Microsoft Power Point)で資料の作り方を習得する。 ・コンピュータネットワークの基礎知識とウィルス対策を学習する。 						
到達目標 (150文字程度)		パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、空港業務に活かせる基本的スキルを習得する。						
評価方法		定期試験			その他の評価方法			
		筆記試験	レポート	授業ワーク				
		50%		50%				
教員実務経験		エアライングループ会社での品質管理実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)		空港業務でも報告書や提案書、ご案内文を作成する機会は多々あります。Windows10のパソコンを使用し、繰り返しの実践で基本的な操作に慣れ、書類作成でも即戦力となるよう取り組んでください。						
教科書		書名	なし			書名		
		書名				書名		
参考書		書名	J検情報活用3級完全対策公式テキスト			書名		
		書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	コンピュータ教室の使い方、コンピュータ関連の基礎用語
2	パソコン基礎	キーボード操作(タッチタイピング練習)
3	コンピュータネットワーク基礎	ネットワークの種類
4	インターネットとウィルス対策	インターネットの構成
5		コンピュータの脆弱性の理解とウィルス対策
6	ビジネスメール	ビジネスメールの基本、署名の作り方
7		ビジネスメール(日本語、英語)
8	Word	Wordの基本操作、書類の作成
9		
10	Excel	Excelの基本操作、基本的な関数
11		グラフ作成、データ管理
12	Power Point	Power Pointの基本操作
13		資料の作り方、見せ方、デザイン
14		Power Point課題① プレゼンテーション資料作成
15		Power Point課題② グリーティングカード作成

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			
学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	2年次 後期
授業科目名	コミュニケーション実践	担当教員名	赤塚 かおり		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	伝える力としての非言語・言語表現力を、【文章作成】【シーン別会話】【プレゼンテーション】を中心に、テーマ別に学び、社会人基礎力の基本を体得する。				
到達目標 (150文字程度)	双方向コミュニケーション・論理性・語彙力に重点を置き、自己と他者の差異を超え、グローバルに協働できるコミュニケーション力を身に付ける。自分の伝えたこと＝相手に伝わること、相手が伝えたいことを正しく理解することに近づける。				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	授業ワーク		
		50%	50%		
教員実務経験	国内線・国際線客室乗務員経験。航空会社にて、機内サービス部門、管理業務経験あり。				
学生へのメッセージ (150文字程度)	社会人デビューに向けて、コミュニケーション力に磨きをかけます。ワークを通し、自己本位のコミュニケーションから、相手が理解しやすいコミュニケーション力へとマインドセットしていきましょう。				
教科書	書名	なし		書名	
	書名			書名	
参考書	書名	コミュニケーション・スキルの学び		書名	文章力の基本の基本
	書名	雑談力が上がる話し方		書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス	相手をイメージした双方向コミュニケーション	
2	【文章作成①】	話し言葉と書き言葉 ワーク①	
3	【文章作成②】	文の基本形・簡潔に書く ワーク②	
4	【文章作成③】	わかりやすく・的確に書く ワーク③手順の説明	
5	【文章作成④】	共感を得る・メタファー	
6	【会話の基本①】	雑談力	
7	【会話の基本②】	会議の司会進行をする・発言をする	
8	【会話の基本③】	敬語	
9	【異文化理解①】	日本の文化	
10	【異文化理解②】	世界の風習	
11	【演習①】	説明力	合同演習
12	【演習②】	分かりやすい資料作成2	合同演習
13	【演習③】	アンコンシャスバイアス	合同演習
14	【演習④】	グループディスカッション	合同演習
15	【演習⑤】	チームビルディング	合同演習

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		前期	
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グランドスタッフコース						
授業科目名	空港サービス基礎			担当教員名	村山 一成					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2		選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	旅客サービスの基礎として航空旅客輸送における危険物の重要性と航空機の重量、重心位置の管理について学び航空安全に対する認識を高める。									
到達目標 (150文字程度)	旅客機輸送における航空危険物の基礎知識を習得するとともに航空機のWeight & Balance Manifestについて基礎を理解する。									
評価方法	定期試験			その他の評価方法						
	筆記試験			取り組み姿勢						
	90%			10%						
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験									
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空安全の重要性を考え授業内容を復習しその意味を理解してください。									
教科書	書名	配布資料			書名					
	書名				書名					
参考書	書名				書名					
	書名				書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空危険物概要	危険物の定義
2	危険物分類	危険物の分類(国際、国内)
3		危険物の分類(国際、国内)
4		隠れた危険物
5	旅客に対する免除規定	危険物の輸送形態
6		旅客または乗務員が携行する危険物
7	ラベリング	ラベリング
8		危険性ラベルの仕様規格
9		取り扱いラベル
10	機長への報告	報告内容及び機長への通知が必要な物品。NOTOCの流れ
11	事故発生時の対応	事故発生・発見時の報告、事故発生時の救急方法
12		事故発生時の応急措置、危険物事故通報ルート
13	理解力促進	ロードコントロール概要
14		Weight & Balance Manifestについて
15		演習及び解説

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	貿易概論		担当教員名	エアポートサービス科常勤教員				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	エアラインスタッフとして知っておくべき貿易実務と航空貨物に関する知識を基本に、エアライン全般に亘るビジネスの構図と成り立ちについて学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	エアライン企業への就職を目前に控える時期において、自らの担当する実務業務のみならずより幅の広い航空業界の実情に触れることにより、社会人としてのしっかりとしたスタートを切る準備を行って頂きたい。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	レポート		取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	エアライン業務全般における実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界に身を置く者として、エアライン全般に亘る様々な分野の実情に関心を持ち、業界人として求められる基礎知識を学ぶ意識で取り組んで頂きたい。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容構成と意義・目的の説明
2	業界トレンド解説	航空業界のトレンドを取り上げ、業界の最新事情につき解説する
3		
4		
5	貿易関連	貿易とは、貿易統計、空運と海運、貿易のリスク、貿易の流れ・形態、通貨・為替、円相場、GDPなど
6		
7		
8	航空貨物輸送・通関関連	航空貨物輸送の実情、米国と日本の輸送形態の相違、税関の役割・管轄など
9		
10	財務諸表	財務諸表(PL, BS, CF)解説
11	合同プレゼンテーション	全クラス合同による合同プレゼンテーション
12		
13		
14		
15	本講義のまとめ	本講義のまとめ

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目						
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グランドスタッフコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	品質管理		担当教員名	吉川 勝巳			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界および企業・自身にとっての品質は何かを考える。 品質を維持向上させていく上で、基本となる用語や問題解決に役立つ具体的手法について学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	学んだ手法を用い、品質管理・改善に取り組む。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	80%		20%				
教員実務経験	エアライングループ会社での品質管理経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界に限らず必要な内容です。言葉は難しく聞こえますが、内容は難しくありません。 個人またはグループ単位で適宜ディスカッションを行います。 職種問わず、就職された後に関わる活動として、品質管理を理解して下さい。						
教科書	書名	なし			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	品質管理検定(QC検定)4級の手引き			書名	やさしいQC七つ道具	
	書名	品質管理の演習問題 QC検定4級対応			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	パート1 品質管理とは	自身を知る、チームとは
2		品質、品質管理
3		総合的な品質(QCD、PSME)
4		改善活動、仕事の進め方(PDCA)
5		QCサークル、QC七つ道具
6		新QC7つ道具
7		QCストーリー、標準化
8		ブレインストーミング
9		なぜなぜ分析
10	パート2 5S・未然防止	企業の品質管理紹介
		工程とプロセス
		報告・連絡・相談
11		5W1H
		三現主義
		安全衛生の活動
12		5S
13	再発防止、未然防止、ヒューマンエラー	
14	ヒヤリハット、危険予知(KYT)	
15	まとめ	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名	企業研修教育(基礎)		担当教員名	(委託先企業)			
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。						
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
			企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験	---						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~30	基礎座学・初期教育	航空会社の基礎知識の取得と初期教育の定着
31~60	実務業務(基礎)	各空港における基礎的な実務業務の実施

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名	企業研修教育(応用)		担当教員名	(委託先企業)			
授業形態	実習	授業時数	300	単位数	7	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。						
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
			企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験	---						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~75	実務業務(応用)-1	各就職先企業の担当業務における基礎的な実務業務の着実な実施と定着
76~150	実務業務(応用)-2	各空港における実務業務の担当範囲の拡張と品質改善